

第1期基本計画（案）総論新旧対照表

頁	旧	新
6	<p>6 高度情報化社会の進展</p> <p>ICTの飛躍的な発達と情報通信機器の普及・多様化が進む中、インターネットやスマートフォンの普及などにより、市民の日常生活や行政サービスは大きく変わろうとしています。</p> <p>SNS<sup>7</sup>をはじめとするソーシャルメディアの利用が拡大し、現実社会での人間関係を補完するようにコミュニケーションの多様化が進んでいます。また、インターネットを利用した消費（eコマース）は年々増加傾向にあり、企業と消費者間の電子商取引（EC）市場は急成長しており、時間的・空間的制約を受けない消費活動が拡大しています。</p> <p>国においても、ICTを活用した利便性の高い電子行政サービスの提供や業務の効率化・省力化が進められており、マイナンバー制度の導入等による、住民の利便性向上や行政事務の効率化が進められつつあります。</p>	<p>6 高度情報化社会の進展</p> <p>ICTの飛躍的な発達と情報通信機器の普及・多様化が進む中、インターネットやスマートフォンの普及などにより、市民の日常生活や行政サービスは大きく変わろうとしています。</p> <p>SNS<sup>7</sup>をはじめとするソーシャルメディアの利用が拡大し、現実社会での人間関係を補完するようにコミュニケーションの多様化が進んでいます。また、インターネットを利用した消費（eコマース）は年々増加傾向にあり、企業と消費者間の電子商取引（EC）市場は急成長しており、時間的・空間的制約を受けない消費活動が拡大しています。</p> <p>国においても、ICTを活用した利便性の高い電子行政サービスの提供や業務の効率化・省力化が進められており、マイナンバー制度の導入等による、住民の利便性向上や行政事務の効率化が進められつつあります。</p> <p><u>一方で、高度情報化社会の急速な進展により生じるデジタル・ディバイド（情報格差）<sup>8</sup>の解消が課題となっています。</u></p> <p>(脚注)</p> <p><u><sup>8</sup> デジタル・ディバイド(情報格差):インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。</u></p>
19	<p>(5) 地域の資源と知恵を活かし、魅力と活力あふれるまち</p> <p>③ 農業の振興</p> <p><u>大都市近郊農業としての生産機能と農地の有する多面的機能を発揮しながら、都市住民から新規就農者を含めた農業者や企業等まで市民全体で農地を保全・活用するため、新規就農者への支援及び農業基盤整備を図るための支援を進めるとともに、関係機関等のネットワーク強化を図ります。また、市民等が自然と親しむ機会を創出することにより、一層の地産地消を進めます。</u></p>	<p>(5) 地域の資源と知恵を活かし、魅力と活力あふれるまち</p> <p>③ 農業の振興</p> <p><u>大都市近郊農業が有する多面的機能を発揮するため、農業基盤整備の支援や既存農家、新規就農者への支援を進めるとともに、市民等が農と親しむ機会の創出や農業団体をはじめ関係機関等とのネットワークを強化することにより、都市住民から農業者や企業等まで市民全体で農地の保全・活用と地産地消を進めます。</u></p>